

1571年、長崎港が開港し、長崎は貿易・文化・技術ともに大きく発展していきました。

では、開港前の長崎はいったいどのようなまちだったのでしょうか。

数々の発掘調査に携わり、研究を行う学芸員の永松実氏に、開港前の長崎を中心に、長崎の歴史についてお話いただきます。



2021

10/16(土)

14:00 - 16:00(開場 13:30)

長崎市立図書館 多目的ホール

参加無料・定員60名

講師 永松実氏

(長崎市歴史民俗資料館 学芸員)

1950年生まれ。出島などの発掘に携わる。前長崎市歴史民俗資料館長。著書に『長崎代官末次平蔵の研究』(宮帯出版社)、『本邦初の洋食屋』(えぬ編集室)、『長崎昭和レトロ写真館』(長崎新聞社)など。

申込方法

図書館2階カウンターまたはメール

メールの方は、

【宛先】kikaku@lib.city.nagasaki.nagasaki.jp

【件名】「開港450」

【本文】「氏名」「電話番号」

個人情報は、本イベントに関することのみを使用し、適切に管理いたします。
必要に応じて保健所等の公的機関へ提供する場合があります。



長崎開港450周年
SINCE 1571

【主催・問い合わせ】長崎市立図書館 TEL:095-829-4946

長崎開港450周年記念講演

開港前夜

— 出土品が語る長崎の姿 —